
BATTLE CRY

アキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

BATTLE CRY

【Nコード】

N2684A

【作者名】

アキ

【あらすじ】

戦場に向かう人達の唄です

r a i n

雨の中君を捜した。

空襲の後の煙の混ざったような気分が悪くなる雨

瓦礫の中の君は雨に打たれながらも動くことはなかった。

運動不足の僕の腕には重すぎる銃。

きっと仕事ばかりで君を大切にできなかった報いなんだろうね。

これから先、

たとえ一人になっても、

たとえ一国を相手にすることになっても、

たとえ死ぬことになっても、

僕は君の仇を討ちたい。

きっとそれが

残された僕にできる精一杯のこと

今日もあの日みたいな雨の中

あの時と違うのは僕の手の中にある殺意の塊と胸の中にある決意。

僕は今日戦場に行きます。

仇を討ちます。

r a i n (後書き)

いちようサイカノの世界の話です。 兵士達の唄をかくつもりだったんですがまた暗いだけで終わってしまいそうです (泣)
これからこういつのを少しだけ書いていくつもりです。
では、これからもよろしくです。

f a t h e r ' s b a c k

「きみのお父様が空襲に巻き込まれて亡くなった」

その電話を受けたのは札幌空襲で避難所にいた時だった。

親父は俺が尊敬した唯一の人だった。

自分一人で事務所を立ち上げ、それを自分一人で大きくした。

たしかに仕事熱心すぎて小さい頃ほとんど遊んでもらえなかったけど

親父の背中俺にとってとても大きくて、

いつもその背中を追いつづけていた。

その親父が死んだ

もう家族に男は俺しかない。

ただでさえ支給は少なくなっている、まだ小さい育ち盛りの妹もいる。

兵隊になろう。

少しでも家族にいく支給が増えるように

親父が守ってくれていた家族を生かすために

人だってコロス覚悟がある。

親父みたいに大きい背中を持つオトナになりたい

いや、なるんだ。

俺は兵隊になる。

白川高等学校2年7組

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2684a/>

BATTLE CRY

2010年10月9日00時22分発行